

13 ナゴヤダルマガエル (アカガエル科)

Pelophylax porosus brevipodus

兵庫県ランク:A

環境省ランク:EN

種の概要

日本の固有種であるダルマガエルの亜種で、中部地方から中国地方にかけての本州と四国の一部に分布する。頭胴長は55～65mm程度。背面は緑褐色、背側線は赤褐色で、背面から側面にかけて、輪郭の明瞭な丸い黒色斑が並ぶ。後肢が短い。



県内における生息状況及びその他特記事項

瀬戸内海沿岸の平地にある水田やため池、河川敷の湿地などの止水で、周囲に草本植生が発達した場所に不連続に分布している。

写真提供: 見澤 康充

保護上の留意点

水田の廃止や土地開発に伴う池沼の埋め立て、河川敷の公園化などによる生息場所の消失によって急速に個体数が減少し生息場所が狭まっている。本種の保護のためには、こうした環境のこれ以上の消失を防ぐことが重要である。このほか近年の稲作における中干しの励行も、特に幼生の生存に決定的な悪影響を及ぼしていると思われる。

県内分布

神戸市、尼崎市、明石市、加古川市、高砂市、稲美町、相生市、赤穂市、たつの市、淡路市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

